

調査概要

▶調査テーマ◀

- これまで全国規模で量的に把握されてこなかった、大学生の保護者からみた大学教育に対するニーズや要望、大学への関わり方などの実態を明らかにすること
- 子どもの大学選びや大学生活、就職活動などに対する、保護者のさまざまな関与の実態を明らかにすること

▶調査方法◀

インターネット調査

▶調査時期◀

2012年3月24日～27日

▶調査対象◀

全国の大学1～4年生の子どもをもつ保護者6,000名(父親3,000名、母親3,000名)。

インターネット調査会社の約130万人のモニター母集団のうち、子どもをもつ父親または母親(38歳～66歳)約40万人に対して予備調査を実施。このうち、大学生の子ども(18～24歳、日本の大学・海外の大学に通う場合を除く)をもつ父親または母親にアンケートの協力を依頼。子どもが在籍している大学の入試難易度(偏差値)*を「55以上」「50～54」「45～49」「45未満」の4つのグループに分け、父親全体3,000サンプル、母親全体3,000サンプルを確保することを目標に、それぞれのグループの人数比率にできるだけ近くなるようなサンプル構成を目指して回収を行った。

*大学の入試難易度(偏差値)は、2010年度 第3回ベネッセ・駿台マーク模試・11月B判定値(合格可能性60%以上80%未満)を用いた。

【本調査結果を読む際の留意点】

- ・図表タイトルに、子どもの学年の表記がない場合は、全学年を対象としている。
- ・本報告書で使用している百分比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、数値の和が100にならない場合がある。

目次

大学選択への関わり

- ① 子どもの大学選びへの関わり…… 4
- ② 大学選択で重視したこと…… 6

大学生活への期待

- ③ 大学時代に力を入れてほしいこと… 8
- ④ 大学での指導・支援への期待… 10

保護者と大学との関わり

- ⑤ 大学からの情報提供の
ニーズと現状…… 11
- ⑥ 保護者が利用・参加している
大学のサービス・イベント…… 12
- ⑦ 経済的負担の状況…… 13

子ども・大学生活への関わり

- ⑧ 子どもとの会話…… 14
- ⑨ 大学生活の心配ごと…… 16
- ⑩ 子どもとの関わりに対する意識 18

就職・進路選択への関わり

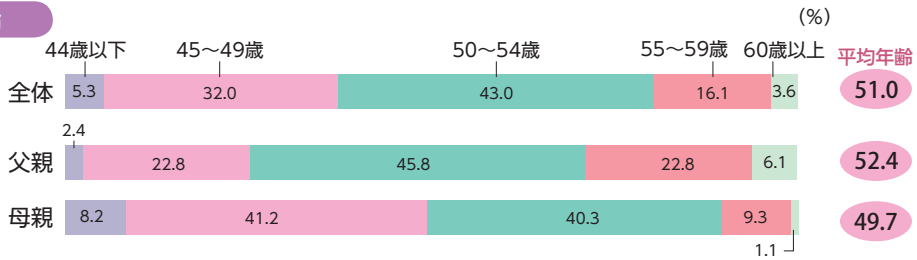
- ⑪ 就職・進路に対する保護者の意識
…… 19
- ⑫ 就職・進路選択への関与…… 20

海外留学

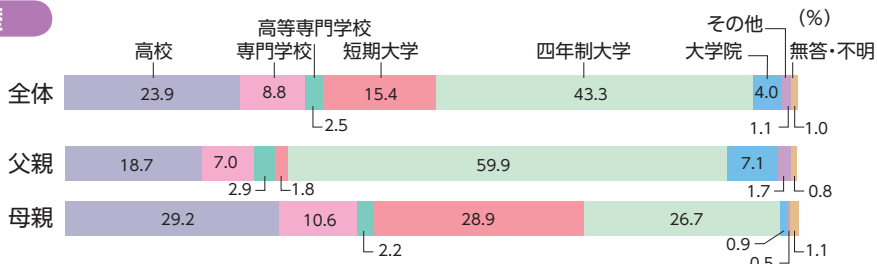
- ⑬ 海外留学に対する意識…… 22

回答者の属性

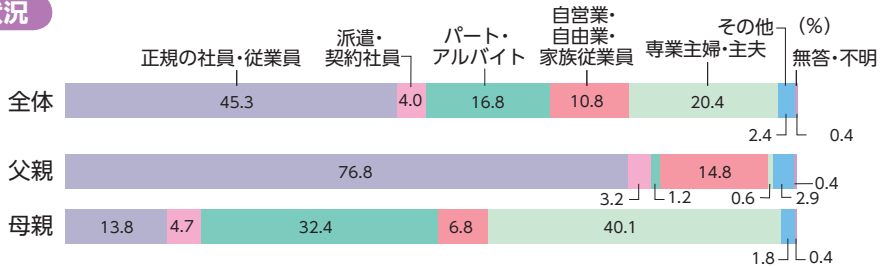
年齢



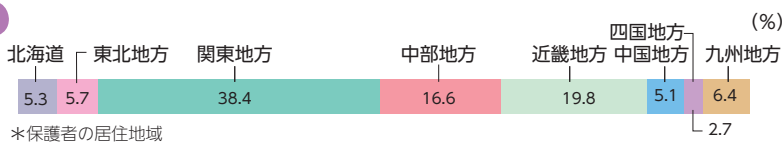
学歴



就業状況



居住地域



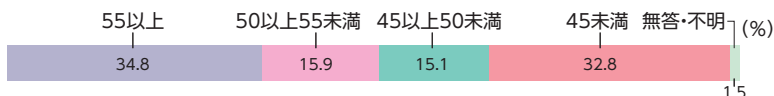
子どもの性別



子どもの学年

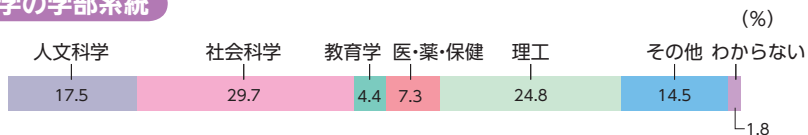


子どもの大学の入試難易度



*大学の入試難易度(偏差値)は、2010年度 第3回ベネッセ・駿台マーク模試・11月 B判定値(合格可能性60%以上80%未満)を用いた。

子どもの大学の学部系統



*人文学部には、人文系統と外国語学系統、国際学系統を含む。社会科学には、法学、経済学、社会学系統を含む。